

「平成 26 年度第 1 回阿見町外部評価委員会」議事概要

審議会等の名称	平成 26 年度第 1 回阿見町外部評価委員会
開催日時	平成 26 年 6 月 18 日（水） 午前 10 時 30 分から午後 0 時 30 分まで
開催場所	阿見町役場 3 階 305 会議室
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付及び各委員紹介 3. 町長あいさつ 4. 委員長・副委員長の選出 5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 外部評価委員会の趣旨と進め方 (2) 評価対象事業の選定 6. その他（第 2 回以降の外部評価委員会日程） 7. 閉会
出席者	<p>【委員】 米倉政実委員，山口忍委員，橋本英之委員、齋藤光子委員、吉原一行委員、井上正道委員 計 6 名（欠席なし）</p> <p>【町】 天田町長，横田総務部長 企画財政課：小口課長，川原係長，高橋主任</p>
公開/非公開の別	公開 *傍聴者：なし
会議内容	<p>委員長には米倉政実委員、副委員長には山口忍委員を互選により選出。議事については、議題（1）、（2）それぞれ事務局より説明後、質疑応答が行われた。内容は以下のとおり。</p> <p>（1）外部評価委員会の趣旨と進め方について</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの評価は、妥当か妥当でないかのどちらかだけとなっているが、中間のようなものを設定してはどうか <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部評価に対して妥当か妥当でないか、委員会として結論を出し、各課に示したいという意図がある。普通という評価を入れず、○か×かの評価としてお願いしたい。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が念頭に置くべきことは、事業そのものが妥当かを評価するものではないということ。例えば学校のテストならば「担任の先生が 80 点とつけた」とすると、その 80 点という採点が妥当かどうか。100 点ではないから事業そのものは妥当でないが、80 点という評価が正当かどうかを評価するということ。 ・妥当か妥当でないかという 100 かゼロかになる。不足しているものがあれば妥当でない、100%満足しているということであれば妥当ということが良いか。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような考え方で構わない。事業そのものの話も出ると思うが、自由記載という欄を設けている。そこで議論の過程に触れていただければ、担当課もそれを受けて、事業そのものを考えるきっかけになる。

【委員】

- ・その項目が90点ならば妥当でない。90点だった時にどこが減点だったかをはっきりしておけば良いだろう。
- ・微妙なところで人によって考え方が違う場合はある。80点でも良い点ととるか、悪い点ととるか、違うこともある。
- ・80点でも妥当と判断したのであれば、それでも良いのでは。

【事務局】

- ・そういった過程は議事概要の中で記録していく。委員会としてはどちらかの結論になるが、両方の意見が拮抗した結果、片方を判断したという場合でも、議事概要にはその過程が記録される。

【委員】

- ・役場の内部で行っている事務事業評価は、サンプルでは平成24年度と25年度の数値が入っている。来年、再来年と続くが、今後3年間の外部評価は、平成24年度と25年度の結果を対象にするということか。

【事務局】

- ・評価を行う時点の前の年までの内容に対して評価する。平成27年度に実施するのは平成26年度までの内容に対しての評価を行う。

【委員】

- ・内部評価は毎年行っているのか。

【事務局】

- ・毎年行っている。常に最新の状態で見ていただくことになる。

【委員】

- ・総合計画との関係について、今年は第5次総合計画に基づいて評価を行い、26年度は第6次総合計画に基づいて評価を行うということを明確にしておく必要がある。

(2) 評価対象事業の選定

【委員】

- ・10年以上の事業を抽出という点については、新しい事業が10年後にならないと評価できない。そうすると第6次総合計画の期間が終わってしまう。今年度はこれで良いと思うが、第6次総合計画に基づく実施計画もいくつかは入ってこないといけないだろう。

【事務局】

- ・今年度1年間、外部評価を実施してみて、最終的に総括という形で、事業の選定も含めて来年度に向けた外部評価委員会の在り方について、議論いただき、改善すべき点は改善していきたい。

【委員】

- ・事業の年数について、資料では10年以上に○、それ以外は空欄となっているが、年数を入れて欲しかった。年数が多い事業にしようか、事業費が大きい事業が良いか、委員の関心のある事業が良いかなど、いろいろな観点があるが、数字があった方が良い。また、事業費は空欄のものがあり、判断できない。

【事務局】

- ・年数については、示せるよう努力したい。事業費については、人件費以外に費用がかかっていないものは空欄となっている。

【委員】

- ・事業仕分けの時は人件費が入っていた。この事業に対してどのくらいの人員、時間を要しているのか。例えば「この事業で100日もかかっているのか」ということで評価対象としてみようかという視点もある。
- ・人件費は記載してもらった方が良い。厳密には、どのくらいの時間がかかったか。職員によって人件費はずいぶん違うだろう。

【事務局】

- ・個別のシートでは人件費を記載する形となる。人件費は時間数に同じ単価をかけている。

【委員】

- ・常勤と臨時職員でも単価が違う。そこも分かるようにして欲しい。
- ・人件費で行う事業と、委託で行う事業があるだろう。
- ・選定の考え方としては、9課あって8事業選ぶので、必然的に1つの課を除いた上で各課1事業ということになるだろう。

【事務局】

- ・提案として、企画財政課の事業のうち、外部評価委員会そのものを3年後に評価するという形でどうか。

【委員】

- ・今年度については、事務局で絞り込んだ事業から8事業を選ぶ。来年度以降は、年数のことや人件費などを加味した中で選ぶということで良いか。
- ・（異議なし）
- ・住民情報ネットワーク運営事業について、マイナンバー制度についてはどう扱うのか。

【事務局】

- ・マイナンバーに関しては、住民情報ネットワーク運営事業の中で触れるとは思いますが、事業としては番号制度事業という新規事業として別に立ち上がっていて、そちらで扱っている。

【委員】

- ・（人材育成事業、広報事業、庁舎維持管理事業、住民情報ネットワーク運営事業、休日等サービス事業、区長等支援事業、固定資産税家屋賦課事業、徴税吏員催告徴収事業の8事業を選出）

【事務局】

- ・その8事業で準備をさせていただく。1日目、2日目、3日目の割り振りについては、事務局に任せてもらえれば、皆さんになじみのあると思われる事業から順番に並べていく形で準備をする。例えば広報事業や、税金の関係で徴税吏員催告徴収事業などから始め、分かりにくく複雑な事業を後にするという考え方でどうか。

【委員】

- ・（異議なし）

（その他）

【委員】

- ・シートについて、まず「事業のチェック」については、要るのかどうか。事業の方向性については、所属長記入とあるが、部長か課長か分からない。課長ならば課長と書いて欲しい。方向性と業務改善については、これで良いのか我々に聞くのだから、その理由が入っていないと分かりづらい。自分がヒアリングシートをつけることを考えると、入れて欲しい。

【事務局】

- ・「事業のチェック」は外すこととする。所属長記入は課長が記入するので、表記も「所属長」から「課長」に変更する。

【委員】

- ・理由については、質疑の中で聞けば良いかもしれない。
- ・シートに記載するスペースが無ければ必ず説明してもらおう形にして欲しい。

【事務局】

- ・理由を記入する欄の追加を検討する。

【委員】

- ・事業費について、金額だけではそれが妥当かどうか、分からない。

- 例えば類似事業ならどのくらいの人件費でいくらの事業費がかかっているのか、または、阿見町と同じくらいの規模の他の市町村ではどのくらいかかっているのかなど、判断の基準を示していただけると指摘がしやすい。
- 単純に人件費だけ書かれても分からない。どういう人が何人でやっているのか、それはヒアリングの時に聞けば良いのかもしれないが。
- 事業によっては類似事業が無いもの、他市町村と比較しようがないものもあるだろう。

【事務局】

- このシートのほかに添付する資料を担当課で作るよう指示を出す。その中で今指摘いただいたような点を反映したいと考えている。

【委員】

- 目的に対する手段が分かりにくい。手段という点がシートから読み取れない。こういった点もシートに書ききれないのであれば、補足が必要。
- 事業内容の欄を具体的に書くよう心掛けてもらえれば分かりやすくなると思う。
- そういうのも含めて委員会として意見を記載して提出すれば良いということだろう。

【事務局】

- 定型的な様式ですべてを説明することは難しい。そういう点はみなさんからの質問等で補完していただくということをお願いしたい。

【委員】

- ヒアリングには課長が出てくると思うが、なぜこの目標にしたのか、この実績はどうだったのかなど、当然質問が出るところは、その時にきちんと答えていただけるようにして欲しい。事業仕分けでは分かりにくいこともあった。「それはこうです」とはっきりと言えるような形にして欲しい。
- 各課1事業なので、その事業だけはパーフェクトに準備いただかないと我々の仕事を果たせないと思う。事業から外れた質問が出て答えられないというのはあっても良いと思うが、対象の事業はパーフェクトに評価していて、結果的に評価は妥当であるということになるのではないかと思う。
- 経験上、説明する人によって千差万別。
- 千差万別だと評価が下がってしまうので、今日指摘があったような、このシートに書いていない内容でも、最低これは用意していただきたいという指示を事務局から出してもらいたい。
- 阿見町では、委員にとっても事務局にとっても初めてなので、シートも含めまずはこの方法で実施するということが良いと思うが、1年間やってみて、報告書を書いた時点で、次年度は変えて良いという事務局の許容があると良い。

【事務局】

- 事務局としてもこれから形を作っていくということで、そのような考え方で進めていきたい。